

1. 目的

新型コロナウイルス感染症拡大に起因する学生生活や修学環境の変化により、経済的に困窮した学生等を支援する大学等に対して、当該支援に係る事業費の一部（1/2以内）の額を助成し、もって各大学等が独自に支援を実施する取組みを推進することを目的として実施する。

2. 概要

(1) 助成規模 約16億円

(従来から受け入れてきた「学生支援寄附金」を原資とする。)

(2) 実施時期

2022年4月～2022年12月

(3) 対象の学校種別

大学、大学院、短期大学、高等専門学校（4・5年生）、専修学校専門課程、日本語教育機関、外国大学日本校

(4) 対象事業

「食」に対する支援：学生生活を送るための食費（現物支給を含む）の支援

※ 食料品の現物支給のほか、食料品を買うための金券類、学内の食堂や売店で使用できるチケット等の支給等が対象

(5) 助成額

1校あたり10万円以上100万円以下（支援事業を実施するために必要な経費の1/2以内）

(6) 学校から学生への助成方法

金銭又はこれに類するもの、現物支給による経済的支援であること

（学生一人あたりに対する支援額は10万円を上限）

3. 支給実績

対象となる学校4,519校のうち、432校が事業を実施。

（内訳）大学 182校、短期大学 45校、高等専門学校 3校、専修学校専門課程 118校、日本語教育機関 83校、外国大学日本校 1校

助成金による学生等への支給実績は **約2.4億円**（参考）学校からの申請額計：約2.6億円

4. 実施結果 ※ 学校における主な取組の例

「食」に対する支援

① 現金又はこれに類するものによる支援

ex)「学生生活の食事補助としての現金」「Q U Oカード」「生協電子マネーチャージ」「お米券」の配布等

② 食堂等割引による支援

ex)「100円朝・夕食の実施」「学内食堂のメニューの割引」「食堂・購買における弁当の割引」等

③ 現物支給による支援

ex)「米」「カップ麺」「レトルト食品」「缶詰」「野菜」「果物」の支給

④ 食券配布による支援

ex)「学生食堂の食券(回数券)」「オフピーク時間に使用できる購買等のチケット」の配布等



① 「食」の支援にかかる現金又は金券類による支援例
ex) (新見公立大学) 学生への食に対する支援事業贈呈式

新型コロナウイルス感染症に伴う食事支援

【岩大100円朝食】の実施について

新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮している**本学学生**を対象として、岩大生協と連携し以下のとおり食事支援を実施します。

- 【内容】 朝定食(最大400円相当)を**100円(税込)**で提供します。
 - 【場所】 岩手大学中央学生食堂
 - 【実施期間】 ①7月11日(月)~15日(金)、②7月19日(火)~22日(金)、③7月25日(月)~28日(木)
 - 【提供開始時間】 8時~ (8時から中央学生食堂に整理券を設置します)
 - 【提供数】 1日につき先着**180食~240食**(日ごとに変動します)
 - 【支払方法】 生協プリペイドカード、生協ミールカード、現金
 - 【注意事項】
 - ・現金支払いの場合、岩手大学学生証を提示してください(岩大生限定)
 - ・感染拡大防止のため、**マスク着用、手指消毒、黙食**等に協力ください。
 - ・整理券は配布当日10時30分まで有効です。
 - ・新型コロナウイルス感染症の発生状況により、実施日を変更する場合があります。
- ※本事業は「岩手大学イーハトーヴ基金」と「日本学生支援機構新型コロナウイルス対策助成事業」からの助成により実施します。 令和4年6月23日 学生支援課奨学グループ



② 「食」の支援にかかる食堂等割引例
ex) (岩手大学) 岩大100円朝食

令和4年も残すところあとわずかとなりました。
コロナ禍&物価高騰の中、冬休みを前に一人暮らし(寮生活を含む)の学生・生徒の皆さんへ お米と食料品を配布したいと思います。
希望者は事務室カウンターの名簿に記載してください。

令和4年12月8日(木) 下校時
場所* 1階 / 事務室前

今回 配布する食品は、賞味期限が間近のものや、中には切れているものもありますが「消費期限」とは異なり、期限が過ぎたからといって食べられなくなる訳ではありません。「物を大切にす気持ち」や「作っている方への感謝」、「廃棄物を減らすことでの環境への配慮」など 世界で取り組みを進めているSDGs(持続可能な開発目標)に繋がるものです。
… そんな思いを受け止めて食べてもらえたら嬉しいなと思います ☺

お米は新米です

② 「食」の支援にかかる食堂等割引例
ex) (太成学院大学) 試験前応援ランチ

③ 「食」の支援にかかる現物支給例
ex) (郡山看護専門学校) 食料品等支援品給付

5. 支援を受けた学生等からの声

- コロナ禍において食費の捻出に困っていましたが、食の支援により助けられました。ありがとうございました。
- アルバイトができない中、切り詰めた生活をしていましたが、久しぶりに朝ごはんは味噌汁が食べられる。
- アルバイト収入が減額されている中で、食料の無料提供はありがたい。今後も続けてほしい。
- カレー弁当を安価で購入することができ、食費の心配が減った。
- Many thanks for your helping and support.
- 生活が厳しい状況にある学生にとって、100円で昼食が食べられる企画は好評であり、提供開始から、順番待ちができた。
- 生活に必須の米など食料品の提供に大変感謝の声が寄せられています。
- コロナ禍の影響により生活リズムが崩れがちになっていたが、朝から登校して100円朝食を利用することにより、栄養面だけでなく、生活リズムも整った。
- 低価格で学食を食べることが出来て、とても助かった。
- 皆様からの温かい支援に心から感謝申し上げますとともに、ご期待に応えられるよう、より一層が学業に専念いたします。
- 健康的な食事がとれることや、学食を利用する機会が増えて友人ができた等の声も寄せられています。
- まだまだ厳しい日々が続くかとは思いますが、このような支援を励みに、教職員・学生ともども精進して参ります。

